

湘南

50号特集 ■ 各地域協議会のあゆみ

## 「つばさ」第50号記念によせて

湘南地域青少年指導員連絡協議会会長（伊勢原市会長） 亀井 善夫

伊勢原市では、昭和46年3月1日の市政施行に伴い昭和47年4月1日より青少年指導員が活動しています。当初の4年間は1年任期でしたが、3期目から2年任期となり今期で第21期になります。伊勢原市の青少年指導員は、各自治会の推薦で市長から委嘱されます。現在102自治会から推薦された102人の青少年指導員が活動しています。第13期目からは事業部・広報部の2部会制になり、各7地域の正副代表がそれぞれの部会に所属し活躍しています。

市委託事業として、「少年野外教室」・「親と子の語らい事業」の2本立てで永く活動してきました。しかし、市の財政難もあり、現在は「少年地域体験学習事業」の一本となっています。「少年地域体験学習事業」は、市内7地域それぞれの特徴と伝統がある事業（マスのつかみ取り・ナイトウォーク・ハイキング・お飾り作り、等々）を実施しています。

私たち青少年指導員は、これらの事業を通して子どもたちに家族との話題や大人になったときの思い出を提供できればと願い日々活動しています。こうした活動の積み重ねが青少年の健全育成に欠かせない「地域・学校・家庭」の輪の形成に役に立つものと自負し、今後も活動を続け頑張るつもりです。



クリスマス&amp;お正月リース作り

## 湘南地域の社会環境健全化街頭キャンペーン今昔

湘南地域青少年指導員連絡協議会 事務局

湘南地域では、「つばさ」第50号記念にあたりまして皆様の参考になりますよう、街頭キャンペーンをどのように行っているかご報告いたします。

過去を調べますと、湘南地域では、各市町が実施する街頭キャンペーンに湘南地域県政総合センター職員が参加するという仕方でキャンペーンを実施してきました。遡りますと、平成9年頃に現在の形になりました。それぞれの市町で様々な方々のご協力により実施しており、この場をお借りしてお礼申し上げます。

湘南というと「海」ということになりますが、片瀬地区青少年育成協力会の方が先導して藤沢市職員、警察官同行

で、夜間江ノ島周辺の片瀬海岸をパトロールしたことがありました。

茅ヶ崎市・中央運動公園と二宮町・ラディアンのキャンペーンに、当センター職員が着ぐるみ2体（いぬとさる）で参加したことがありました。

めずらしいところでは、昭和57・58・59年11月に、管内市町と共催で県のヘリコプター「さがみ」に同乗して、空から「青少年の健全育成」を呼びかけたと記録にありました。

皆様のご参考になれば幸いです。今後ともご協力をお願い申し上げます。



街頭キャンペーン風景・出発式挨拶